

心に太陽を

3学期が始まりました

3学期が始まりました。3学期は1年間のまとめの学期でもあり、来年度への準備の学期でもあります。46日間という短い学期ですが、充実した学期になるよう努めてまいります。今学期もよろしくお願いいたします。

今回の学校だよりでは、1学期始業式での校長先生のお話や学校評価アンケートの学校評価アンケートの結果と考察について掲載いたします。

<3学期始業式 森泉 雄二校長先生の講話 「自分の中に節をつくる」 >

全校の皆さん、明けましておめでとうございます。2学期終業式の日の下校の時、校門でたくさんの友だちが「校長先生、よいお年を」と声をかけてくれました。校長先生はよい年を迎えました。皆さんもよい年を迎えることができただしょうか。

お正月は日本の行事の中で最も古くから残っている行事だと言われています。普段と違ってお正月だけに行うことがいくつもありますが、校長先生は、この中に日本人が大事にしてきた「心」や「考え方」が見えてくるように思っています。例えば、門松やしめ飾りを飾るのは、その年の作物が豊かに実ったり、家族みんなが元気で暮らせたりしますように、という願いを込めています。お正月だけでなく、しし舞やどんど焼きにも、お盆やお祭りにも願いが込められています。是非たくさんかかわりをもって、日本人や地域の人が大事にしてきた「心」や「考え方」を学んでほしいと思います。

さて、今日は、お正月にも飾られる日本らしい植物、「竹」にかかわるお話をします。皆さんは、竹を見たことがありますか？竹は背が高いわりに細い植物です。何となく弱そうに見えるかもしれませんが、雪が積もった日は、体を「く」の字に曲げて雪の重みや強い風に耐え抜き、簡単に折れることはありません。そして、雪が無くなったら「バネ」のように、また元のように戻ろうとします。竹は「曲がらない堅い強さ」でなくて「しなやかな強さ」を持っているんですね。



折れそうで折れないのはなぜかという、竹が50くらいの「節」を持っているからです。節は、どこ部分か分かりますか。そして、大雪や強風にも負けない強さを持っているだけでなく、竹がすすく天に向かって生長できるのも、「節」があるからだそうです。普通の植物の伸びていくところは幹や枝の先っぽだけですが、竹は50ある節ごとに伸びていく力を持っていて、多いときには1日に1メートルも生長することがあるそうです。

竹の生長にとって欠かせない「節」ですが、私たちにも同じような「節」があるから成長しているのかもしれない。竹はタケノコの頃から体の中にたくさんの節を持っているように、私たちも生まれたときから、あなたにしかない「節」があって、いろいろな人と出会ったり、いろいろな体験を重ねたりする中で成長していきます。さらに、時間をかけながら自分の中に節をつくり、強く、たくましく、そして、しなやかに、優しくなっていくように思います。



今日、1年生と3年生と5年生が3学期や今年の目標を話してくれましたが、目標をもって頑張り続けることに加えて、自分の好きなこと、楽しいこと、「なぜ、どうして？」と思うことに、とことん「㊦どみ」「㊧ちゅう」になることが、皆さんを竹のようにグングン伸ばし、より強く、しなやかにしてくれるのだと思います。

先生たちも、そんな皆さんの中にある「節」を伸ばしていられるよう、また、新たな「節」を作っていられるよう支えていきたいと思っています。

＜学校自己評価アンケート（保護者）結果と考察＞

皆様からいただきました大事な評価を、令和5年度の学校運営に活かしてまいりたいと思います。ご協力、ありがとうございました。

A：よくあてはまる B：おおむねあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない 数値は%

	評価項目	A	B	C	D	考察・来年に向けて
1	お子さんは、学校生活や授業に対して楽しいと感じていますか	34.4	57.6	7.2	0.7	約9割の皆様から「あてはまる」とご回答いただきました。今後もC、Dのお子さんが「楽しい」と思えるよう、子どもの願いを大切に、その実現を目指す学校づくりを推進します。
2	お子さんは、学校生活や授業に対して興味をもって意欲的に取り組んでいると感じますか	31.2	58.6	9.7	0.5	約9割の皆様から「あてはまる」とご回答いただきました。今後も子どもたちが意欲的に授業に取り組めるよう、子どもの願いや問いから始まる授業を目指します。
3	お子さんは、失敗を恐れず、あきらめずにチャレンジしていますか	17.5	58.9	21.9	1.7	答えが定まっていないものを自ら探究していく中で諦めずにチャレンジしていく力が育つと考えます。生活科や総合的な学習の時間を中心に、活動に浸り込み自ら探究していく中で、諦めずにチャレンジしていく力の伸長を目指します。
4	お子さんは、自分の考えをもち、自ら判断し、自ら行動していますか	23.9	61.1	14.0	1.0	主体的に活動に取り組む中で自分の考えをもち、自ら判断し、自ら行動する力が伸びていくと考えます。児童の主体性を大切に授業を目指します。
5	お子さんは、とことん考え、とことん浸り込むことに取り組んでいますか	14.5	51.1	31.2	3.2	約3割の皆様から「あてはまらない」とご回答いただきました。自分のやりたいことに浸り込む機会が少なかったことが考えられます。生活科や総合的な学習の時間を中心に活動に浸り込める場を増やしていきます。
6	お子さんは、自分の夢をもち、自分のよさを大切にしていますか	18.7	58.4	20.9	2.0	多様な大人と学ぶ機会の中で自分の夢について考えたり、自他のちがいに寛容な心が育つことで自分や友のよさを大切にできたりすると考えます。多様な大人と学ぶ場を設けたりクラスの中で自分とちがう考えを認め合い学び合う学級づくりを目指します。
7	お子さんは、自分とは違う他者を認め、協働できていますか	27.4	62.3	9.5	0.7	約9割の皆様から「あてはまる」とご回答いただきました。今後も、縦割り活動やペア活動等、異学年との関わりを大切にしていきます。
8	お子さんは、家庭学習の際、自分から宿題を行う習慣がついていると感じますか	33.2	42.6	18.0	6.2	約1/4の皆様から「あてはまらない」とご回答いただきました。決められた課題をこなす家庭学習のあり方が問われていると考えます。主体的な家庭学習のあり方、クローブの活用方法について検討していきます。
9	生活科や楓の時間、学校行事において、子どもの思いを生かした体験学習を工夫していると感じますか	36.2	59.6	2.7	1.5	多くの皆様から「あてはまる」とご回答いただきました。今後も子どもの思いを大切に、子どもが創る学習、行事を目指します。
10	学校生活の3本柱「あいさつ」「くつろえ」「清掃無言」が、家庭生活にも生かされていると思いますか	12.2	40.6	38.4	8.7	約半数の皆様から「あてはまらない」とご回答いただきました。3本柱に取り組む意味を子どもたちが十分理解できていないことが考えられます。子どもたちとともに3本柱の意味の再考し、目的や意味を明確にした上で取り組んでいきます。

ご意見、ご要望について

- 挨拶ができない子が多いので指導してほしい。
→上記項目10で記載したように、子どもたちとともに挨拶の意味を再考する中で、挨拶の日常化につなげていきます。
- 学年通信における伝達事項をもう少し丁寧に記載してほしい。
→保護者の皆様に趣旨が伝わるよう、内容を十分検討した上で具体的な記述での伝達に心がけます。
- 新型コロナウイルスの感染状況について、もう少し詳しく教えてほしい。
→先日、オクレンジャーでお伝えしましたが、罹患が判明した場合、その日の人数をオクレンジャーにて配信します。学級閉鎖の場合は、学級名、期間についても配信します。



「ふれあい楓まつり」で作成したコットンボールを使ったイルミネーション。保健室西側の廊下が柔らかい光に包まれています！
楓祭り実行委員の皆さんが作っていただきました。

今後の主な予定

＜2月＞

- 3日(金) スキー教室(4～6学年)
- 7日(火) 児童総会
- 10日(水) 参観日①(1～2学年)
- 11日(土) アンサンブル交歓会
- 14日(火) 参観日②(学習室)
- 17日(金) 参観日③(3～4学年)
- 21日(火) 参観日④(5～6学年)
- 27日(月) 支部子ども会④

＜3月＞

- 3日(金) 6年生を送る会
- 9日(木) 学期末大掃除(～15日)
- 14日(火) 3学期 終業式
- 15日(水) 卒業証書授与式
- 16日(木) ～年度末休業(春休み)
- 27日(月) 新6年生準備登校

文責：教頭 北村 和行